

～伝統の技を 知って・見て・体験！～

10月16日（金）文化サロン“京象嵌” オリジナル象嵌 製作体験つき

京都ホテルオークラ（本社：京都市中京区 ㈱京都ホテル、東証2部上場、代表取締役社長 福永法弘）では、10月16日（金）に第65回文化サロン「京象嵌 ～漆黒に浮かぶ煌き～」を開催いたします。株式会社中嶋象嵌 代表取締役の中嶋優子氏を講師にお迎えし、京都で1200年もの歴史をもつ伝統工芸「京象嵌」のお話と、職人による実演をお楽しみいただきます。またお客様には金・銀のパーツを組み合わせてオリジナルの象嵌作りを体験いただきます。伝統の技を使った世界にひとつだけの作品は記念品としておすすめです。

◆イベント概要

- 【名称】第65回 京都ホテルオークラ 文化サロン
「京象嵌 ～漆黒に浮かぶ煌き～」
- 【講師】株式会社中嶋象嵌 代表取締役 中嶋優子氏
- 【開催日】2015年10月16日（金）
- 【時間】ランチ 11時45分～12時45分
講演・体験 13時00分～15時00分
- 【講演・体験会場】京都ホテルオークラ 3階宴会場
- 【ランチ会場】京料理「入舟」または
テラスレストラン「ベルカント」
- 【料金】ランチ付 7,000円、講演・体験のみ 4,500円



体験イメージ

*携帯ストラップまたはペンダントのいずれかを
当日お選びいただけます。

*職人の手で仕上げ、約1ヶ月後にお送りします。

◆文化サロンについて

京都ホテルオークラ「文化サロン」は、日本の伝統・京都の文化を再認識し、後世へと伝えていくことをテーマに、2010年4月よりスタート。伝統工芸の職人や文化人をお迎えし地元 京都に息づく伝統文化の生の姿をお届けしてまいりました。6年目を迎えた今年、第64回から3回連続で「体験型企画」を開催。第2弾となる今回に続き、12月には「かるた」をテーマにお話と体験をお楽しみいただきます。



京象嵌の作品と
製作風景

◆京象嵌について

奈良時代に大陸から日本へ伝わったとされる象嵌。「京象嵌」の特徴は「布目象嵌」と呼ばれる独特の技法にあり、江戸時代に刀の装飾など武家文化とともに発展しました。中嶋象嵌では親子3代にわたってその伝統技法を守りながら、アクセサリーの他、新しい作品作りにも意欲的に取り組まれています。